

市民のみなさんの声と共産党市議団の頑張りで 市民の切実な願いが実現しました

日本共産党門真市議員団は、3月市議会で、市民のみなさんの切実な願い実現に全力を尽しました。

安心・安全のまちづくり

水害が起こった場合、どの地域がどのような被害が想定されるかを示す「洪水ハザードマップ」を作成することを議会で要求してきました。新年度予算で全世帯に配布することになりました。さらに、島頭・深田・沖町をはじめ浸水地域の公共下水道が整備されます。また、西三荘駅周辺についてのバリアフリー基本構想が策定されます。

学童保育の改善に一步前進

新しい放課後健全育成事業（放課後児童クラブ）として条例化され児童の生活の場として、平日の時間延長（5時から6時へ）・土曜日開設も行われるなど改善されました。

新年度予算で、引き続き脇田・浜町小学校の施設の改善がおこなわれます。

全中学校にエアコン設置

以前から議会で提案し、子ども議会でも切実な声が出されていた普通教室の暑さ対策として、全中学校にエアコンが設置されることになりました。（二中は、すでに設置）

引き続き、未設置の小学校においても早期にエアコンが設置されるように頑張ります。

乳幼児医療の無料化

子育て中の父母の切実な願いであった乳幼児医療費助成の対象年齢が引き上げられました。議員団は、これまで議案提案権を使い、また他党会派へ対象年齢引き上げについて共同の申し入れなどをおこない実現に向けて力を尽してきました。

3歳未満

4歳未満



社会教育施設の充実



かねてから議会で旧門真南高校を市民のために活用することを提案してきました。06年度、旧門真南高校の施設が、図書館分館を含む生涯学習センター・や子育て支援、教育センター、スポーツの拠点に生まれ変わります。

旧門真南高校施設の活用

多重債務相談学習会

とき 5月13日（土曜日）
1回目 午後2時から
2回目 午後7時から

ところ 門真民主商工会館
(市役所前) にて

*詳しくは、党市議団までご連絡ください

どんなことでも お気軽にご相談ください



市議会副議長・党議員団長
吉松 正憲



市議会議員
亀井 あつし



市議会議員・党議員団幹事長
中西 みよ子



市議会議員
福田 英彦



市議会議員
井上 まり子

力を合わせ、市民の生活守る 日本共産党

門真民報

議会報告版
2006年 5月号

日本共産党門真市議会議員団
中町1-1 ☎ 6902-1231、885-1231



市民に痛み押し付けあきません!

自治体の役割は市民の安全、健康、福祉を守ること

一方で長寿祝い金は削減

5年前に縮小されたばかりの長寿祝い金をさらに削減するために、77歳の高齢者に1万円支給していたものを5千円相当の品物にあらためることを決めました。

高齢者のわずかばかりの楽しみを奪うものです。

行政改革で
自治体の役割は市民の安全、健康、福祉を守ること



石原町の買収予定の建物

深刻な財政のもとで不急の事業と厳しく指摘

新年度予算で「密集住宅市街地整備事業」に、大倉西地区に公園用地として、建物と土地をあげて約2億5千万円で買収する予算が計上されました。

この物件は、これまで密集事業に携わってきた業者が、02年10月に購入していたもので、周辺にはすでに公園が整備されており、また極めて不自然なものです。

党議員団は、深刻な財政状況のもとで不急の事業であると厳しく指摘しました。

5年前に縮小されたばかりの長寿祝い金をさらに削減するために、77歳の高齢者に1万円支給していたものを5千円相当の品物にあらためることを決めました。

介護保険料 44%もの値上げ 共産党議員は値上げに反対

この4月から介護保険料が表のように、新2段階（年金収入が年間80万円以下）を除き大幅な値上げとなります。

日本共産党は、くすのき広域連合3月議会で年金80万円をわずかに超える方や、非課税から課税になった方に対し、減免を実施すべきと迫りましたが、実施しない態度に終始しました。日本共産党は高齢者を一層苦しめるものだとして反対しましたが、門真選出の議員を含む賛成多数で可決しました。



	旧保険料 (年間)	新保険料 (年間)
第1段階（旧1段階）	19,900円	28,750円
第2段階（旧2段階）	29,850円	28,750円
第3段階（旧2段階）		43,120円
第4段階（旧3段階）	39,810円	57,490円
第5段階（旧4段階）	49,760円	71,870円
第6段階（旧5段階）	59,710円	86,240円



園部市長は、3月議会の施政方針説明で「官民協働」「少人数行政」を市政運営の基本理念として強調し、自治体も経営戦略をもつべきと主張しています。「官民協働」「少人数行政」では、市民の安全、命や健康が脅かされ、市民サービスも低下することが危惧されます。

自治体は、利益追求を第一とする会社ではありません。自治体の仕事は、住民の安全、健康・福祉を守ることです。無駄な経費は徹底して削減しなければなりませんが、市民に任をもって実施すべきです。

園部行革は市民サービス低下への道

公明党・緑風クラブ 志政会・改革クラブなど 議員定数の削減を強行

現在の議員定数28名を6名削減し22名とする議案が議会最終日、提案され、賛成多数で可決されました。

議員定数削減の真のねらいは、市議会で「確かな野党」である共産党を、「厳しい財政」を口実に減らそうとするものです。そして共産党の役割を弱めることにより市民要求の実現を遠ざけようとするものにほかなりません。また、多様な意見を持った市

民を議会から締め出すことであり、断じて許せません。

共産党議員団は、議会経費の削減のためには、議員報酬の2割削減と政務調査費の削減がより効果的だと提案しましたが否決されました。

議員報酬・政務調査費の削減は4月から実施可能です。しかし議員削減は1年先になります。

